

#### 4 その他の特徴的な事件

##### (1) 配偶者による暴力事件

配偶者による暴力事件（殺人、傷害、暴行）（注）の検挙件数は、平成12年から急増しており、平成15年も前年に比べ52件（3.1%）増加している。夫による妻（内縁関係にある者を含む。）への暴力について見ると、殺人、傷害及び暴行の検挙件数は1,574件で、前年に比べ46件（3.0%）増加している（図表3-4-1）。

注：配偶者による暴力事件には、いわゆる配偶者からの暴力事件だけでなく、例えば、殺人では囑託殺人、保険金目的殺人等、多様なものが含まれている。

図表3-4-1 配偶者による殺人、傷害並びに暴行事件の検挙件数の推移

区分 \ 年次	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15
殺人(件)	158	170	155	155	189	170	197	191	197	215
うち夫によるもの	102	101	112	101	129	105	134	116	120	133
傷害	294	272	325	365	295	403	888	1,097	1,250	1,269
うち夫によるもの	225	239	309	340	273	375	838	1,065	1,197	1,211
暴行	35	28	44	32	35	36	127	156	219	234
うち夫によるもの	33	25	43	31	33	36	124	152	211	230
合計	487	470	524	552	519	609	1,212	1,444	1,666	1,718
うち夫によるもの	390	365	464	472	435	516	1,096	1,333	1,528	1,574

注：内縁関係にある者を含む。

##### (2) 建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件

平成14年に入り、神奈川県を中心とする関東圏等で建設機械等を使用して現金自動支払機（ATM）等を収納ブースごと破壊した上、現金を窃取しようとする窃盗事件が57件と多発した。平成15年の認知件数は44件で、前年に比べ13件（22.8%）減少している（図表3-4-2）。

平成14年に発生が多かった神奈川県と大阪府においては、平成15年の発生はないが、両府県警察では、主に同府県内で組織的に犯行を繰り返していたグループを検挙している。

図表3-4-2 建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件の認知件数の推移

区分 \ 年次	平13	平14	平15
認知件数(件)	9	57	44
うち未遂	8	31	32

【事 例】A T M・C Dを重機等で破壊して搬出窃取する連続多額窃盗事件（神奈川、静岡、警視庁）

平成13年3月から平成15年2月までの間、暴力団組員の男（33）らは、暴力団組員や暴力団周辺者による窃盗グループを組織し、窃取した油圧ショベル等の建設用機械を使用してA T Mブース等を建物ごと破壊してC D・A T Mを窃取する窃盗事件やファミリーレストラン、スーパー等を対象とする金庫破り事件などを広域にわたって敢行していた。

9月までに、15都県下にわたる窃盗等567件（首魁を含む被疑者37名、被害総額10億50万円相当）を解決し、窃盗組織を壊滅した。